【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【公表番号】特表2010-529927(P2010-529927A)
【公表日】平成22年9月2日(2010.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2010-035
【出願番号】特願2010-511700(P2010-511700)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｎ　2/48　(2006.01)
Ａ４７Ｃ　7/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｎ　2/48
Ａ４７Ｃ　7/38

【誤訳訂正書】
【提出日】平成25年5月24日(2013.5.24)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
状況に応じて保護ヘルメット（５２）を着用する又は着用しない、座席乗員（５）の頭部（５１）を支持する緩衝材（２）を有するヘッドレスト（１）が取付けられた背もたれ（４）を有する乗物座席において、
前記緩衝材（２）は、少なくとも３つの安定位置：
‐座席の乗員のヘルメット（５２）の着用・非着用にかかわらず、前記ヘッドレスト（１）が座席の乗員の頭部における頸部を支持する第１位置、と
‐座席の乗員のヘルメット（５２）非着用時に、ヘッドレスト（１）が頭部における後頭部を支持する第２位置、と、
‐座席の乗員のヘルメット（５２）着用時に、ヘッドレスト（１）が乗員の頭部における後頭部を支持する第３位置、
を有し、且つ前記緩衝材は第１中空回転シャフト（６１）に取り付けられ、前記第１中空回転シャフトの軸は前記緩衝材の回転軸（６９）と一致し、前記第１中空回転シャフトは前記背もたれ（４）の上部（４２）の横に配置される相互に平行の２枚の板（３１ａ、３１ｂ）に固定される端部を有する第２の同軸回転シャフト（６５）を中心に摺動・回転することを特徴とする乗物座席。
【請求項２】
前記緩衝材（２）が前記第２位置または第３位置にあるときに前記緩衝材（２）が第１後頭部支持面を有し、そして前記緩衝材が前記第１位置にあるときに第２頸部支持面（２２）を有することを特徴とする、請求項１に記載の乗物座席。
【請求項３】
前記緩衝材（２）の位置は、前記緩衝材の前記回転軸（６９）を中心とする回転によって前記少なくとも３つの安定位置の間で切り替わり、前記緩衝材の前記少なくとも３つの安定位置の各々の支持面（２１、２２）の位置は：
‐座席において、一般に平均サイズのパイロットの襟首のくぼみと襟首の上部との間の高さに前記回転軸（６９）を配置し、
‐前記回転軸（６９）に対し前記第１支持面を配置し、

‐前記回転軸（６９）に対し前記第２支持面を配置する
ことによって決定することを特徴とする、請求項１または２に記載の乗物座席。
【請求項４】
前記緩衝材（２）は、前記回転軸（６９）に沿う２つの変換位置、すなわち前記緩衝材が固定される安定位置と、前記緩衝材が回転軸（６９）を中心に円滑に回転してしまう不安定位置、とを有することを特徴とする、請求項１～３のいずれか１項に記載の乗物座席。
【請求項５】
前記第１中空回転シャフト（６１）はその端部（６４ｂ）の一つにおいて前記第１中空回転シャフトに取り付けられた第１回転素子（６７ｂ）を有しており、その第１回転素子は、前記緩衝材が安定位置にあるときに第２板（３１ｂ）に形成された複数の凹部（３３）の中の、位置合わせされた１つの凹部に係合する少なくとも一つのロックピン（６３）を有することを特徴とする、請求項１～４のいずれか１項に記載の乗物座席。
【請求項６】
第１板（３１ａ）の内面（３１１ａ）と、第１中空回転シャフト（６１）の別の端部（６４ａ）に位置する第２回転素子（６７ａ）の外面（６７１ａ）との間において第２回転シャフト（６５）の周囲に配置されるばね手段（６２）を有し、前記ばね手段（６２）は、前記緩衝材のロックを外すために前記緩衝材（２）を横に押し込むことにより加圧されることを特徴とする、請求項１～５のいずれか１項に記載の乗物座席。
【請求項７】
座席の乗員（５）の頭部（５１）を支持する緩衝材（２）を有する乗物座席用のヘッドレスト（１）であって、
前記緩衝材（２）が、少なくとも３つの安定位置：
‐前記乗員のヘルメット（５２）の着用・非着用にかかわらず、前記ヘッドレスト（１）が頭部の頸部を支持する第１位置と、
‐前記乗員のヘルメット（５２）非着用時に、前記ヘッドレスト（１）が乗員の後頭部を支持する第２位置と、
‐前記乗員のヘルメット（５２）着用時に、前記ヘッドレスト（１）が乗員の頭部の後頭部を支持する第３位置、
を有し、且つ前記緩衝材は第１中空回転シャフト（６１）に取り付けられ、前記第１中空回転シャフトの軸は前記緩衝材の回転軸（６９）と一致し、前記第１中空回転シャフトは座席の背もたれ（４）の上部（４２）の横に配置するよう構成された相互に平行の２枚の板（３１ａ、３１ｂ）に固定される端部を有する第２の同軸回転シャフト（６５）を中心に摺動・回転することを特徴とするヘッドレスト。